

2018.4 — 2019.3
ARCHIVE of hacchi



hacchi

2018.4 — 2019.3

八戸ポータルミュージアム はっちの歩み

目次

○はっちの8周年	1
○マチニワ	3
【八戸まちなか広場事業】	
マチニワオープニング	4
マチニワ賑わい創出事業	5
マチニワ活用検討市民ワークショップ	6
38 Fuud Food MARCHE	6
【中心市街地賑わい創出事業】	
イベント連携事業	7
ライブラリ事業	8
はっちのゴールデンウィーク2018	9
はっちのたなばた2018	11
はっちのクリスマス2018	13
はっちのお正月2019	14
まちぐみ事業	15
【文化芸術活動支援事業】	
はっちプロジェクトDASHIJIN	16
和 ^お 日 ^ひ カフェ～日本文化に親しむ日～	17
酔っ払いに愛を2018～横丁オンリーユーシアター～	20
【市民活動支援事業】	
第七回はちのへ演劇祭	21
ストリート投げ銭ライブ in はっち	22
はっちがずっぱど南部弁	23
【ものづくり支援事業】	
はっち市2018～はっちがちっちゃな街になる～	24
【観光振興・FMアクセス事業】	
お祭り in はっち2018(八戸三社大祭関連事業)	26
えんぶり in はっち2019(えんぶり連携事業)	27
市民作家・はっちサポーター	28
【情報発信事業】	
はっちリレーショナル・プレスはちみつ	28
放送スタジオ「びびすた♪」	29
○ボランティアガイド	29
【貸館事業】	
市民のみなさんの活動・交流の場	30
○2018年度 はっちの自主事業一覧	32
○はっちの年表	33



八戸ポータルミュージアム はっち 8周年

これまで関わった市民の皆さまとともに
8年間の活動を振り返り、8周年をお祝い

はっちオープニング企画「八戸レビュー」の写真家浅田政志さんによる写真撮影や、この日のために編成された特別バンドによるライブ、全国アートNPOフォーラムの八戸初開催。ほかにも、はっちオープン時にテープカットをした2月11日生まれ当時8歳の子どもたちが将来の夢を語るなど、賑やかなイベントとなった。

■8周年記念セレモニー

2011年のオープニング時にテープカットした当時8歳のこどもたちのメッセージの読み上げ、はっち Fun Fun Fanfare!による祝奏、オープニング企画に参加した写真家浅田政志さんによる記念撮影を実施。

・実施日：2019年2月11日（月・祝）

■8周年の振り返りトークセッション

オープニング企画「八戸レビュー」の写真家浅田政志さんと被写体になった方とともに当時を振り返り、八戸の未来を語るトークセッションを実施。

・実施日：2019年2月11日（月・祝）

・出演：田島理成（八戸青年会議所 前理事長）

外館真知子（南風堂店主）



浅田政志さん撮影の8周年記念写真



8周年記念セレモニーでのテープカットの様子

■「はっち Fun Fun Fanfare！」による「8回目のお祝い」
 サックス奏者鈴木広志さんと仲間たちが、この日のための特別バンド「はっち Fun Fun Fanfare!」を編成し、8周年をお祝いするコンサートを開催。

- ・実施日：2019年2月11日(月・祝)
- ・出演：鈴木広志、大口俊輔、田中庸介、木村仁哉、
 チェ・ジェ Chol
- ・参加者：56名
- ・料金：3,000円(当日3,500円)

■DASHIJIIN トーク

マチニワで八戸三社大祭×アートプロジェクト「DASHIJIIN LAND」を同時開催。三社大祭の山車制作を支える4名の若手制作者からその魅力や真髓を伺うトークイベントを開催。

- ・開催日：2019年2月11日(月・祝)
- ・出演：石橋元平(十一日町龍組)、中居林義直(朔日町附祭)、吉田匡克(青山会山車組)、下村隼人(内丸親睦会)、土谷享(KOSUGE1-16)、吉川由美
- ・入場者：約50名

■はっちリレーショナルプレス「はちみつ」バックナンバー展

はっち開館前から発行しているフリーペーパー「はちみつ」の歴代各号が大集合。これまで携わったアーティスト、市民の皆さんにインタビューを行った8周年記念号も発行した。

- ・実施日：2019年2月9日(土)～20日(水)

■全国アートNPOフォーラム2019in八戸

～「地域とアート」のこれからを拓く～

全国の地方都市で草の根的なアートプロジェクトの実践者として活躍するアート関係団体が一堂に会するアート NPO フォーラムを八戸で初開催。

- ・開催日：2019年2月9日(土)～10日(日)
- ・入場者：約50名

○トーク1 「市民/芸術文化/地域経済」

- ・出演：平田オリザ(劇作家)/加藤種男(クリエイティブディレクター)
- コメンテーター：小林真(八戸市長)

○プレゼンテーション 「地域/伝統/アート」

全国のグループ19組による活動事例発表

○トーク2 「だから自分たちの文化をつくる」

- ・講師：宇野重規(東京大学教授)

○分科会

1. 「八戸のアカレミライを考える」学生による地域デザインプロジェクト

コーディネート：八戸工業大学創生デザイン学科

2. 「いま、アートを取り巻く問題とは何か」

コーディネート：アート・アンド・ネットワーク

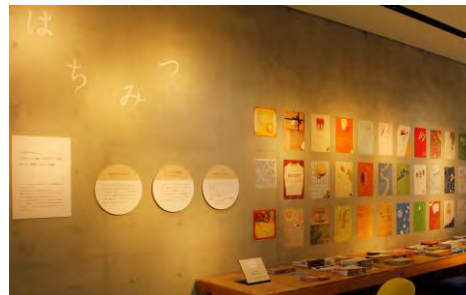
3. 「ネットワークの先にあるものは何か」

コーディネート：アート NPO リンク

○クロージング

公開会議～参加者、来場者とともに～

これからの「地域」と「アート」





2018年7月にオープンした「八戸まちなか広場 マチニワ」

《マチニワの目指す姿》

都市居住者や来街者にとってマチの魅力を高める場所
生活を豊かにするサードプレイスとなる快適で心地よい場所
はっちや周囲の建物と花小路をつなぎそれぞれの機能を共鳴させる場所
文化・芸術が融合した創作活動等を楽しめる洗練された場所
訪れる人々の交流が促進され自然発生的にコミュニティを生み出す場所
さまざまな世代が時間を共有して過ごすことに喜びを感じられる場所

○オープン時間

6:00～23:00

○休館日 なし

設備点検などの臨時休館日あり

○貸出時間(面積使用)

9:00～21:00

こんな使い方ができる！

雨や雪などの天候に左右されずに過ごせるガラスの屋根つき広場で、休憩や待ち合わせはもちろん、さまざまなシチュエーションでの利用が可能。ステージでのパフォーマンス・音楽イベント、マルシェ、ストリートライブやケータリングカーでの販売、大型ビジョンを利用したライブビューイングなどにも活用されている。



シンボルオブジェ 水の樹

八戸青年会議所が1970年代前半にまちの未来への展望を提唱した「海の樹構想」がモチーフ。水が奏でる素敵な音色が時を刻む。

※マチニワのロゴマークとシンボルオブジェ「水の樹」は、青森県出身のアートディレクター・森本千絵さんがデザインを監修。

マチニワオープニング

「まちに輪を、まちに和を、まちに Wow!」 をテーマに賑やかにオープン

「まちに輪を、まちに和を、まちに Wow!」をテーマに中心商店街と連携した謎解きイベントや、さまざまなステージイベント、フードブース出店など、賑やかな幕開けとなった。



■実施日：2018年7月21日(土)

○オープニングセレモニー

水の樹のデザイナー森本千絵さんや中心街の方々とともにテープカット、オープニング映像の上映、ダンス集団TABATHAのダンスによる演出でオープンをお祝い。

○マチニワステージイベント

＜第1部＞

・出演：法霊神楽・左比代虎舞、柏崎小学校バトン部、青森ワッツアススクール八戸校

＜第2部＞

・出演：向陵高校・ドリームキッズ バトンチーム、八戸北高等学校吹奏楽部、中山貴踏(タップダンス) & Swing Legend(ジャズバンド)、倉館麻美 Woman Wonderful(ライブ)、DANCE WAG(ジャズダンス)、石垣ひろみ(フラメンコ)、プロジェクションマッピング上映(制作：LIGHT MAGIC、特別出演：内丸えんぶり組「えびす舞」)、ケヴィン・メッツ社中(三味線 etc.)

○パフォーマーによる回遊

マチニワとはっちを中心に、中心街を回遊。

・出演：un-pa(ロービングパフォーマンス)、チャタ(ピエロ)、DANCE WAG(ジャズダンス)、チンドン芸能社(チンドン屋)

○お振舞い

市内ホテルシェフによるブイヤベースを先着300名にお振舞い。

・協力：八戸ハマルレーションプロジェクト

○フードブース出店

はっち1階カフェ前、はっちひろば前、マチニワにて軽食を販売。

・出店：HHRP BAR、kitchen プルトワ、パール・サウーチ、ビストロ ポ・デタン、ボワラ、ル・ムロン・デ・オワゾ、very berry+、キッチンむらた

○八戸中心街謎解きウォーカー

はっち・マチニワを起点として周辺の店舗を巡る謎解きウォーカーを実施。「気軽にお散歩コース」と、広範囲を巡る「がっつりお散歩コース」の2コースを設定。中心街の各店舗に関連した問題と、お店への再来につながる割引券などの景品を提供し、中心街回遊を促した。

・参加者：102名(気軽63名、がっつり39名)

・協力：八戸中心商店街連絡協議会

・参加店：[気軽にお散歩コース]トールコーヒESHOP八戸十三日町店、中合三春屋店、MORITA ORIGINAL BRANDS SHOP & ONLINE STORE、むらかね、なごみ庵、大松たばこ店、小野画廊、カメラの太平、大学堂薬局

[がっつりお散歩コース]はちえきキャンパスin八日町、亀井歯科、金入番町店、朝日堂、はちのへ額装、美容室にいやま、フラワーショップ花誠、ゆりの木ボウル、まちぐみ



まるで水の精のようなセレモニーでのダンス



回遊パフォーマーによる中心街パレード



柏崎小学校バトン部による演技

○内覧会(関係者・マスコミ合同・自由見学)

・実施日：7月12日(木)10:00～12:00

○プレオープン(4日間)

7月21日(土)のグランドオープンに先駆けて、市民に一般開放。13日(金)17:30から八戸小唄流し踊りの行列がマチニワ内で輪踊り、生演奏等も行われた。

・実施日：7月13日(金)16:00～21:30、7月14日(土)～16日(月・祝)17:00～21:30

○植栽ワークショップ

植物の寄せ植えや木材を組み立てた後に、ペンキとステンシルで模様をつけるプランターづくりのワークショップを実施。

・実施日：7月14日(土)13:00～15:00

マチニワ賑わい創出事業

いつでも訪れたい何かをやってみたい 賑わいの場づくり

「どんな季節でも、いつ来ても楽しい場所」「気軽に企画を実施できる場所」として、全世代が気軽に楽しめるニュースポーツイベント、ライブ・演奏会、大型ビジョンを活かした映像投影などを実施した。

■甲子園高校野球パブリックビューイング

マチニワの大型ビジョンで八戸学院光星×明石商戦、八戸学院光星×龍谷大平安戦を放送。

・実施日：2018年8月11日(土・祝)、15日(水)

■ニュースポーツで遊んでみよう！

公式輪投げ、ディスクゲッター9、ドッチビーなど、だれでも気軽に楽しめるスポーツ「ニュースポーツ」を実施。

・実施日：2018年9月20日(木)、21日(金)

・入場者：28人(2日間合計)

■マチニワ大型ビジョンに映ってみよう！

八戸市成人式の日大型ビジョンに映ってみよう！と題し、大型ビジョンに映像を投影、映った自分の姿を探せるイベントを実施。

・実施日：2019年1月13日(日)



■マチニワをつかってみよう(貸館促進事業)

マチニワのイベント促進を目的にミニライブなどを開催。

○ギターライブ

・実施日：2018年10月17日(水)

・出演：中居翔三

○プラスパフォーマンス

・実施日：2018年10月23日(火)

・出演：鎌倉敏幸 ほか

○ゴスペル ミニコンサート

・実施日：2018年12月15日(土)

・出演：GST(グルービン ソウル トライブ)

○木管五重奏 ミニコンサート

・実施日：2018年12月16日(日)

・出演：八戸チェンバーアンサンブル

「寒い」からこそできる！ 氷都八戸のイベント

冬期間における中心市街地の賑わい創出を図るため、マチニワ、ガーデンテラス及びみろく横丁による連携企画として、氷の彫刻及びアイスク্যান্ডルの展示を実施した。

■氷の彫刻展 in マチニワ&横丁

○アイスク্যান্ডル展示

えんぶり開催期間から、マチニワ、ガーデンテラス、花小路やみろく横丁にアイスク্যান্ডルを展示。

・実施日：2019年2月17日(日)～24日(日)

・協力：株式会社八戸製氷冷蔵

○氷の彫刻制作

マチニワ前において、氷の彫刻の公開制作を実施。八戸をテーマとし、ウミネコと遡上するサケを表現。

・実施日：2019年2月21日(木)

・協力：全日本司厨士協会八戸支部

○氷の彫刻展

マチニワ前に氷の彫刻を展示し、さまざまな色でライトアップした。

・実施日：2019年2月22日(金)～24日(日)



17時から朝6時までアイスク্যান্ডルを点灯

マチニワ活用検討 市民ワークショップ

マチニワを「場所」にするために

山下裕子さん(広場ニスト・マチニワアドバイザー)を講師に、マチニワの活用策についての市民ワークショップを開催。

■第4回マチニワ活用検討市民ワークショップ

7月21日のオープンが決定したマチニワの現状を説明し、工事現場を見学。その後、4つの時間区分×2つの季節+情報発信のグループに分かれて利用シーンをイメージしたワークショップを実施。

- ・実施日:2018年4月28日(土)
- ・参加者:55名

■第5回マチニワ活用検討市民ワークショップ

マチニワの現状を説明し、工事現場を見学。その後、グループに分かれて実際にマチニワを活用した企画を掘り下げて考えるワークショップを実施。

- ・実施日:2018年6月22日(金)
- ・参加者:19名



■第6回マチニワ活用検討市民ワークショップ

マチニワを見学し、グループに分かれて「オープンして感じたこと、使ってみて感じたこと」・「運用ルールについて」・「将来へ向けて」の3テーマについて考えるワークショップを実施。

- ・実施日:2018年12月22日(土)
- ・参加者:16名



■38 Fuud Food MARCHE

- ・実施日:2018年11月3日(土・祝)~4日(日)
- ※ダイニングは3日のみ

・共催:八戸圏域連携中枢都市圏構成町村

○マルシェ (16店舗)

八戸圏域連携中枢都市圏の農水産物及び加工品の販売、地元飲食店による圏域市町村の食材を使用した料理を提供。

- ・入場者:2,398名

○ダイニング

圏域市町村の食材を使用したコース料理をアンバサダーシェフが提供。

- ・アンバサダーシェフ:小坂学(ル・ムロン・デ・オワゾ)
- ・参加者:20名(限定)

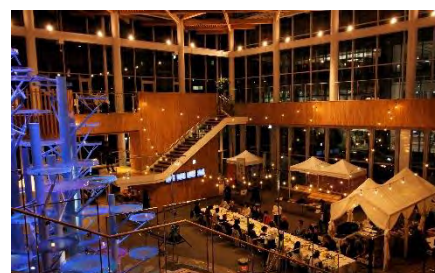
38 Fuud Food MARCHE

風土と食と音のマルシェ

八戸圏域連携中枢都市圏を構成する8市町村の参画のもと、中心市街地の新たな拠点であるマチニワにおいて、風土と食でつながる地域の生産者による「マルシェ」と、アンバサダー(地元料理家)による一夜限りのポップアップレストラン「ダイニング」を開催し、“新たな地産地消の楽しみ”を体験できる場とした。



西洋野菜や農産物の加工品も販売



ダイニングはライトアップでおしゃれな雰囲気に



イベント連携事業

はっちは、まちなかイベントとともに
中心街を盛り上げます！

「はちのへホコテン」や「八戸七夕まつり」、「八戸三社大祭」など中心市街地の歩行者天国に合わせ、食のものづくりスタジオを中心に、館外に出店し、各店舗でイベント限定の商品を提供。多くの方々が立ち寄り、まちなかイベントとともに中心街を盛り上げた。

○実施日

- ・はちのへホコテン： 5月～10月(7月除く)の最終日曜日
2018年5月27日、6月24日、8月26日、10月28日
※9月30日は台風のため中止
- ・八戸七夕まつり:2018年7月13日(金)～16日(月・祝)
- ・八戸三社大祭:2018年7月31日(火)～8月4日(土)
- ・はちのへ中心商店街のお正月2019
2019年1月2日(水)には、八戸中心商店街連絡協議会と
共同で餅つきお振る舞いを実施。



はちのへホコテンで、はっちの軒下に出店した食のものづくりスタジオ。



限定のメニューや商品でまちなかイベントを盛り上げる



中心市街地
賑わい創出
事業

ライブラリ事業

本を楽しむ・本に親しみ・
本が好きになる
はっちのライブラリ

はっちの2～4階に設置されたライブラリ。4階では、月毎にテーマを決めて選書した「月例特集」のほか、本棚にてテーマ展示を実施。八戸ブックセンター主催の第1回「本のまち八戸ブックフェス」では、一箱古本市や和とじのワークショップを実施した。

■はっちの一箱古本市

出店者が個性的なラインナップの書籍を一箱分持ち寄って販売。日本の伝統製本技術「和とじ」によるメモ帳作り体験のほか、八戸ブックセンターや八戸市立図書館などと連携し、市内新古書店ブースの出店やトークイベント、移動図書館の展示・貸出、絵本の読み聞かせなどを実施。ものづくりスタジオでは、本に関連する特別メニュー・商品販売した。

・実施日：2018年9月30日(日)

・出店者：19組

■第1回「Book！ブック！こんにちは」

八戸ブックセンタースタッフが、はっちのライブラリの本を交えておすすめの絵本を紹介。

・実施日：2019年1月12日(土)

・講師：森花子(八戸ブックセンター)

・参加者：1名

■各フロアのライブラリテーマ(通年)

2階：「八戸を知る・日本を知る」

3階：「地元の文学者を知る・深める」

4階：「アートやデザイン、食やものづくり、画集、雑誌」

■4階ライブラリの月例特集テーマ

4月 始まり 10月 演劇・舞台

5月 八戸 11月 クラフト・手しごと

6月 写真 12月 絵本

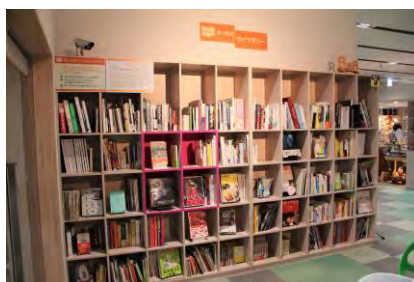
7月 まち 1月 食と健康

8月 祭り・日本文化 2月 はっち・建築

9月 本 3月 礼儀・着物



絵本に関するワークショップを開催



「女子」「はっち」をテーマに展示替え



日本の伝統製本技術「和とじ」をプロに学ぶ

中心市街地
賑わい創出
事業

はっちのゴールデンウィーク2018

親子で楽しめるイベントで染まった
黄金週間



ニュースポーツフェスティバルや、ベヒシュタインピアノ公開練習、こどもの日バージョンで送る「GWスペシャル投げ銭ライブ」など、バラエティ豊かなイベントとなった。

■ニュースポーツフェスティバル in はっち

大人も子どもも気軽に楽しめるニュースポーツの体験を通じて、運動やスポーツに親しむ機会の創出を図った。

- ・実施日：2018年4月29日(日・祝)
- ・入場者：約1,000名(体験145名)
- ・実施：八戸市レクリエーション協会

■遊びのひろば

日本の昔の遊び(羽子板、福笑い、コマなど)の体験や、お手玉やバルーンアートなどのワークショップを実施。

- ・実施日：2018年4月30日(月・祝)、5月5日(土・祝)
- ・入場者：約250名
- ・実施：川村隆、∞spikes(エイトスパイクス)、大村美栄子、松川美紀子、在家智子

■『アートスムージー』をつくらう

フルーツやクリームなどをかわいらしくトッピングした、飲むケーキのようなスムージーを作るワークショップを実施。

- ・実施日：2018年5月3日(木・祝)
- ・参加者：14組
- ・料金：800円
- ・実施：very berry +

■レトロゲームコレクション展Ⅲ

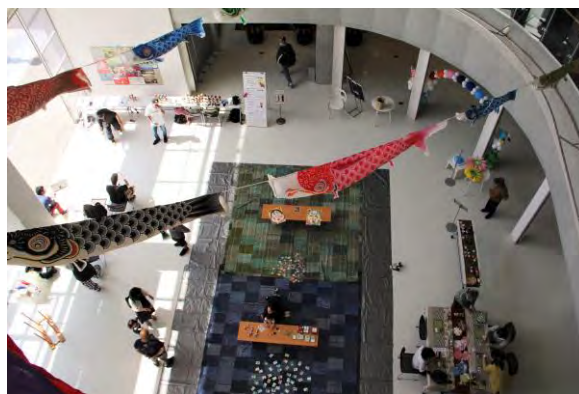
レトロゲーム展示やスタッフが作ったゲームを大画面で遊ぶエディットゲーム大会、ゲーム制作ワークショップを実施。

- ・実施日：2018年5月3日(木・祝)～5日(土・祝)
- ・入場者：1,687名
- ・実施：RF ユニット/LIGHT MAGIC

■GWスペシャル投げ銭ライブ【ミュージック、フラパフォーマンス】

八戸のアイドルユニットとハーモニカサークルによる「ミュージック」と、フラダンススクールによる「フラパフォーマンス」投げ銭ライブを実施。

- ・実施日：2018年5月3日(木・祝)、4日(金・祝)
- ・入場者：約300名(2日間合計)
- ・実施：シンデレラマジック EAST、青森県ハーモニカ連盟所属サークル、三沢総合チャームスクール、フラハラウオ ケアヌエヌエ オナプア ヴィリプリア、フラ スタジオ プメハナ



昔の遊びを体験できる「遊びのひろば」



お子さんに人気のアートスムージーづくり

■ベヒシュタインピアノ公開練習

1人(1組)20分の予約制とし、ベヒシュタインピアノでの公開練習を実施。「Trio Bearissimo(トリオ・ベアリッシモ)」のミニコンサートも開催。

- ・実施日:2018年5月5日(土・祝)
- ・出演:Trio Bearissimo(ソプラノ:吉田由衣・間口友美、ピアノ:佐藤慎悟)
- ・入場者:60名(体験者8名)

■CHEESE DAY の料理教室

簡単チーズ料理教室とチーズとのマリアージュトークセミナーを開催。

- ・実施:CHEESE DAY

○「ソムリエが教えるワインとチーズのマリアージュ」

- ・実施日:2018年4月30日(月・祝)
- ・講師:金子慎也(八戸プラザホテル)
- ・参加者:14名
- ・料金:1,800円

○「シェフが教える家庭で簡単チーズ料理」

- ・実施日:2018年5月1日(火)
- ・講師:須田忠幸(八戸プラザホテル西洋料理長)
- ・参加者:12名
- ・料金:2,000円

○「ティーコーディネーターが教える紅茶とチーズのマリアージュ」

- ・実施日:2018年5月3日(木・祝)
- ・講師:山内瞳(ていーらんぷ)
- ・参加者:14名
- ・料金:1,800円

○「パティシエが教える家庭で簡単チーズ菓子」

- ・実施日:2018年5月6日(日)
- ・講師:工藤慈子(Atelier Au P'tit Goulou)
- ・参加者:12名
- ・料金:2,000円

■こどもはっち写真展

「ふたごプラスそっくり家族大集合!」の参加者の写真を展示。「そっくり大賞」を決める投票を実施。

- ・実施日:2018年5月2日(水)~6日(日)
- ・実施:NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)

■ファミリー運動会

赤ちゃんによるハイハイレースやパン食い競争など親子で参加できる運動会を開催。

- ・実施日:2018年5月6日(日)
- ・参加者:44組
- ・料金:300円
- ・実施:NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)



フラダンススクール3団体による GW スペシャル投げ銭ライブ



ピアニストの佐藤慎悟さん率いる Trio Bearissimo によるミニコンサート



「ワインとチーズのマリアージュ」についてのセミナー



毎年大人気「こどもはっちファミリー運動会」

はっちのたなばた2018

市民といっしょに
夏と七夕を満喫！



カラフルで巨大な惑星ドームに入って遊べる企画や、しっとりと落ち着いた雰囲気を楽しめるお茶会を開催。「八戸まちなか広場 マチニワ」のオープンに合わせ、マチニワでやってみたいことを乗型カードに記入し結び付ける「マチニワが育つ樹」も設置。恒例の市民たんざくコーナーと合わせ、多くの市民の願い事が飾られた。

■はっちの七夕飾り 市民たんざくコーナー

来館者の願いを込めた短冊を笹に結んで展示。
・実施日：2018年7月1日(日)～16日(月・祝)
・入場者：約2,500名

■マチニワが育つ樹

7月21日にグランドオープンする「八戸まちなか広場 マチニワ」でやってみたいことを(乗型)カードに書いて結ぶコーナーを設置。
・実施日：2018年7月13日(金)～16日(月・祝)
・参加者：約500名

■七夕茶会

お茶菓子と抹茶を楽しむ夕涼みのお茶会を開催。
・実施日：2018年7月14日(土)
・実施：茶道裏千家淡交会青森青年部
・参加者：約300名
・料金：300円

■八戸七夕まつり飾りつけコンクール表彰式

中心街に飾られた七夕飾りの表彰式と市内保育園などが制作した七夕飾りを展示。
・実施日：2018年7月14日(土)
・実施：八戸七夕まつり実行委員会(八戸商店街連盟)
・参加者：約100名

■『ハチノヘ☆プラネテス』～たゆたう星に憧れた少年のお話～

子どもたちが描いて制作したカラフルな惑星ドームの中に入って遊べる場を設置。傘に星座を彩るワークショップも実施。
・実施日：2018年7月15日(日)
・実施：アートイズ
・料金：500円(ワークショップ)

■こどもはっち夏まつり

年に一度のはっち全館がまるごとこどもはっちになる日。おみこしかつぎやワークショップなど、親子で楽しめるイベントを多数開催。

・実施日：2018年7月16日(月・祝)
・実施：NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)



大漁旗で涼し気な雰囲気七夕茶会



惑星ドームの中で遊ぼう！ハチノヘ☆プラネテス

〈市民公募企画〉

■青い鳥おはなし会

夏にまつわるお話し会を開催。

・実施日：2018年7月1日(日)

・実施：八戸市読み聞かせボランティア「青い鳥」

■煎茶を楽しむ七夕茶会

夏らしく水出しで楽しめるお茶会を実施。

・実施日：2018年7月1日(日)

・実施：芭蕉流煎茶道八戸支部

・料金：300円

■ごろ寝アート撮影会

夏にちなんだかわいいセットの中、お気に入りの衣装での撮影会を実施。

・実施日：2018年7月2日(月)

・実施：一般社団法人ディーコネクション

・料金：1,000円

■リオンの朗読会

七夕に関する本を心静かに楽しむ朗読会を実施。

・実施日：2018年7月5日(木)

・実施：リオンの会

■マーブルアート

多彩に輝くビー玉造形物の展示&ワークショップを実施。

・実施日：2018年7月5日(木)～7日(土)

・実施：マーブルアート・こなつ

・料金：900円

■夏の水彩画展

夏をテーマにした個性あふれる水彩画の作品展を実施。

・実施日：2018年7月8日(日)～11日(水)

・実施：吹上公民館絵画クラブ

■和のハンドメイドイベント 彩-irodori-

レジン・水引・エコクラフト・つまみ細工・浴衣着付けのワークショップを実施。

・実施日：2018年7月11日(水)

・実施：彩-irodori-

・料金：600円～

■ポーセラーツ・カルトナージュ 作品展示&体験会

夏をイメージしたグラスや食器などの展示&ワークショップを実施。

・実施日：2018年7月14日(土)～15日(日)

・実施：Rire boite M*juh(リラ ポット エムジュ)

・料金：1,500円



こどもたちがいろんなことに挑戦！こどもはっち夏まつり



たなばたのおはなしを心地よく語る



水出し煎茶のお手前中



夏らしい爽やかな色で装飾されたカルトナージュ作品



中心市街地
賑わい創出
事業

はっちのクリスマス2018

見て、遊んで、食べて！
盛りだくさんのはっちのクリスマス

はっちの外壁イルミネーションのほか、マチニワでは水の樹周辺にバルーンアートを設置。“ば(映)える”フोटスポットとなった。

■はっち外壁イルミネーション・はっちひろばツリー展示・マチニワバルーンアート展示

はっち外壁にクリスマスツリーのイルミネーションを設置。また、はっちひろばには、LEDランプを使用したツリーを、マチニワの水の樹周辺にはバルーンを設置。

・実施日：2018年12月1日(土)～25日(火)

■キラキラ★ビー玉でマールアート作品展&ワークショップ

マールアート作品の展示および、ワークショップを実施。

・実施日：2018年12月1日(土)～2日(日)

・実施：いしとや久美子

・参加者：43名(2日間合計)

・料金：700円

■とろ〜りラクレット料理 de テーブルマナー

ラクレットチーズを中心とした料理を食べながら、簡単にできる飲み物のアレンジ方法や、テーブルマナー講座を実施。

・実施日：2018年12月15日(土)

・実施：金子慎也(八戸プラザホテル)

・参加者：23名

・料金：2,000円

■工作工房のクリスマスオブジェ展示 LEDクリスマスランプを作ろう

LEDで光るクリスマスオブジェの展示とクリスマスランプを作るワークショップを実施。

・実施日：[作品展]2018年12月18日(火)～22日(土)

[ワークショップ]2018年12月21日(金)～22日(土)

・実施：工作工房

・参加者：19名

・料金：1,000円

■プログラミング学習ロボット「PETS」であそぼう！

PETSの体験会のほか、LEDランプとアクリル板で作るキーホルダー作りなどを実施。

・実施日：2018年12月23日(日・祝)

・実施：株式会社フージェット

〈優先貸館(市民提案)企画〉

■冬の疾風少女展

・実施日：2018年12月3日(月)～9日(日)

・実施：しばやまいぬ

■心あたたまるマイネ・クライネ 八戸の冬とクリスマスに

・実施日：2018年12月7日(金)～9日(日)

・実施：八戸藝術人の広場

■はっちで千葉高 vol.8

・実施日：2018年12月9日(日)

・実施：千葉学園高等学校

■八戸工業大学第二高等学校 第33回美術コース作品展

・実施日：2018年12月14日(金)～16日(日)

・実施：八戸工業大学第二高等学校

■第5回八戸高専まちなか文化祭

・実施日：2018年12月22日(土)

・主催：八戸工業高等専門学校

■クリスマス音楽祭～映画音楽のタベ～

・実施日：2018年12月23日(日・祝)

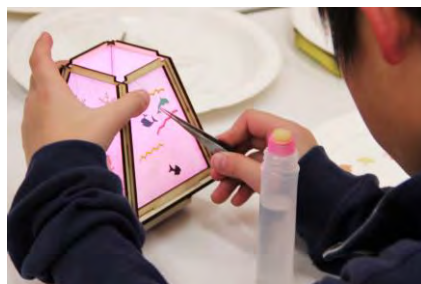
・実施：アコースティック・カフェ実行委員会



マールアート完成にニッコリ



親子でとろ〜り、ラクレット♪



クリスマスランプに、次はどれを貼ろうかな

はっちのお正月2019

多彩なイベントで
にぎやかに新年の幕開け！



恒例の書道パフォーマンスに八戸高等学校書道部が初参加。マジックショー、民謡・手踊り、法霊神楽一斉歯打ちと、お正月らしいステージイベントに多くの来館者が詰めかけ、賑やかな一年の始まりとなった。

■ステージイベント

八戸高校書道部、ケンシラハタさんがはっちのお正月イベントに初出演し、ステージイベントを盛り上げた。

・実施日：2019年1月2日(水)

○八戸東高校書道ガールズ・パフォーマンス

・出演：八戸東高等学校書道部

○八戸高校書道ガールズ・パフォーマンス

・出演：八戸高等学校書道部

○新春マジックショー

・出演：ケンシラハタ+α(大地球)

○法霊神楽一斉歯打ち

・出演：おがみ神社法霊神楽保存会

○はっちのお正月に「民謡一座」がやってきた！

・出演：小坂勝義・小柴社中一座

・入場者：約350名

■はちのへ中心商店街のお正月2019「もちつきお振る舞い」

マチニワと十三日町(スクールSHOPハシブン前)で先着150名にお餅のお振る舞いを実施。希望者には餅つき体験も。

・実施日：2019年1月2日(水)

・実施：八戸中心商店街連絡協議会、八戸商工会議所、まちづくり八戸

・入場者：150名

■つり雛飾り～松坂つやとステキな仲間たち！～

つり雛飾りの展示と、ブローチ作りワークショップのほか、干支クイズ(イノシシの数当てと縁起物とされる理由当て)を行った。

・実施日：2019年1月2日(水)～20日(日)

[数当てクイズ]2019年1月2日(水)～6日(日)

[ワークショップ]2019年1月12日(土)～13日(日)

・実施：松坂つや

・参加者：20名(ワークショップ)、104名(クイズ応募者)

・料金：500円(ワークショップ)

■“はちスポ”新春バトルフェス

東北フリーブレイズ、ヴァンラーレ八戸FC、イタチカ八戸、青森ワッツブルーリングスが出演し、多くのファンと触れ合った。

・実施日：2019年1月3日(木)

・実施：八戸スポーツ振興協議会、八戸市

・入場者：約320名



無病息災の願いを込め、新春に威勢良く打つ、おがみ神社法霊神楽一斉歯打ち



書道ガールズによる書初めと小坂勝義と小柴社中一座



つり雛とたくさんのイノシシ(干支)を展示



まちぐみ事業

市民の「やってみたい！」を
“まちぐるみ”でサポートし、
「なんかおもしろい」を創り出す



アーティストの山本耕一郎さんがプロデュースし、八戸で暮らす人々の「やってみたい！」を“まちぐるみ”でサポートしてカタチにする市民集団「まちぐみ」。「はっちのイスに南部ひしざし体験」や「高校生とつくる南部せんべいカフェ」など、思いがけないアイデアで八戸のまちをちょっとずつ楽しくするプロジェクトを実施。

■まちぐみへの加入

まちで楽しいことがしたい！という方々が、まちぐみ組員として加入。ニックネームとまちぐみで活かしたい得意技等の登録で誰でも加入可能。(1,000円でTシャツ購入、顔写真撮影あり)。2018年度は38名が加入。

■まちぐみ presents はっち×南部菱刺し

はっちの椅子に南部菱刺しを施す市民参加型アートプロジェクトを実施。市民や観光客が、南部地方の伝統工芸「南部菱刺し」に気軽に触れられる機会となっている。

・実施日：2018年5月20日(日)、6月17日(日)、7月15日(日)、8月11日(土・祝)、8月19日(日)、8月29日(水)、10月21日(日)、11月18日(日)、12月16日(日)、2019年1月20日(日)、2月17日(日)

※8月11日は「全国スポーツ流鏑馬第2回八戸大会」、8月29日は根城公民館の青年学級にて実施

■「はちのへホコテン」出店

中心街のメインストリートが歩行者天国となるイベント「はちのへホコテン」(5月～10月(7月は除く)の最終日曜日)で、「まちぐみ」のPRとともに「高校生とつくる南部せんべいカフェ」を出店し、完売後は南部菱刺し体験を実施。

・実施日：5月27日(日)、6月24日(日)、8月26日(日)、10月28日(日)

※9月30日(日)は台風のため中止

■まちぐみ展4

2018年度のまちぐみの活動内容をわかりやすく紹介。南部菱刺しを施したはっちの椅子やオリジナルグッズ等の展示、期間中の土日には「高校生とつくる南部せんべいカフェ」を出店。

・実施日：2019年2月28日(木)～3月13日(水)

※3月12日(火)ははっち休館日

■高校生とつくる南部せんべいカフェ

八戸の「南部せんべい」をテーマに、高校生のアイデアを活かしたメニュー開発やワークショップなどを実施し、高校生が中心となり運営するカフェをオープン。

・実施日：2019年3月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)

■組員自主企画 三社大祭の廃材であそぼう

まちぐみ組員の提案による八戸三社大祭の廃材を利用した企画を実施。

・実施日：2018年10月28日(日)

■中心商店街との連携企画

まちぐみラボが立地する本八戸駅通りにおいて、本八戸駅通り振興会とまちぐみが連携した、2つの企画を開催。

1. 本八戸駅通り「タぐれ市&フリーマーケット」

・実施日：2018年10月27日(土)

2. 第2回本八戸駅通り地区トレジャーハンティング

「八戸藩秘宝伝説のナゾを解明せよ！」

・実施日：2018年11月10日(土)



カフェ風の屋台で「いらっやいませ！」



文化芸術
活動支援
事業

はっちプロジェクトDASHIJIN

八戸三社大祭の山車を
造形する市民力で
八戸固有の物語が浮かび上がる

八戸三社大祭の山車の造形力という地域資源に光をあてるアートプロジェクト。2018年度は、市民、山車組関係者、アーティストによるワークショップで制作した造形物で装飾した小さな遊園地「DASHIJIN LAND」を開催したほか、八戸三社大祭の次世代を担う小学生を対象とした「祭り教育」プログラムを実施した。

■祭り教育プログラム

八戸三社大祭を将来へ引き継ぐための教育プログラムを作成し、小学校で授業を実施。教材を作成するに当たり、授業に参加した先生方からの意見を参考にした。

- ・実施日：2018年9月～10月（全8回）
- ・参加校：4校
- ・実施：小岩秀太郎、山田雅也（ともに縦糸横糸合同会社）
三塚比呂（映像ディレクター、カメラマン）

■造形物制作ワークショップ

市民・山車組関係者・アーティストが協働で、造形物の制作を実施。

- ・実施日：2019年1月21日（月）～2月8日（金）
- ・参加者：約277名
- ・実施：土谷享（KOSUGE1-16）
- ・協力：市内各山車組、はちのへ山車振興会

■DASHIJIN LAND

ワークショップで制作した造形物で装飾した人力で動くメリーゴーラウンドをメインアトラクションとした小さな遊園地「DASHIJIN LAND」をマチニワで開催した。

- ・実施日：2019年2月9日（土）～2月11日（月・祝）
- ・実施：土谷享（KOSUGE1-16）
- ・協力：市内各山車組、はちのへ山車振興会
- ・参加者：約1,000名

〈平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業〉



教育プログラムで山車組の皆さんと交流



休憩中に山車の造形物で遊ぶ子どもたち



造形物ワークショップの様子



文化芸術
活動支援
事業

わび
和日カフェ

～日本文化に親しむ日～

日本文化をより楽しむための
「入口」を作る

日本文化に関する活動発表の場の創出や、日本の文化や伝統を気軽に体験していただくことを目的に実施している「和日カフェ」。2018年度は、和日カフェで企画を実施する個人・団体を募集して開催したことで、新しいジャンルの企画も登場した。

■2018年4月15日(日) 294名

○邦楽を楽しむ会

詩吟・尺八・箏・日本舞踊のステージを実施。

・入場者：各回80名程度(2回実施)

○春のわくわく手しごと体験

手しごと体験と作品の展示。

水引細工のアクセサリ・花咲くお手玉「ほおずきお手玉」・和のステンドグラス(サンキャッチャー)・加工漆で手軽に金継ぎ

・参加者：28名

・料金：700円～3,000円

・実施：花鳥風月堂、癒しサロンいちやりば・おはな、
Stainedglass～komado～

○鳥獣戯画手ぬぐい作り

墨と筆を使って、国宝「鳥獣戯画」に登場する動物を布に描いてオリジナル手ぬぐいを制作。

・参加者：22名

・料金：500円

・実施：くるみのひろば

○イブクイカガ？誕生日茶会

～おたんじょうび会をお茶席でHAPPY な一日に～
誕生日会をテーマとしたお茶席を実施。

・参加者：70名

・料金：300円

・実施：茶道宗徧流青森支部審心会

○飾り巻寿司教室

ピンクの桜の花の飾り巻寿司を作ってみませんか。

・参加者：14名

・料金：1,000円

・実施：高屋敷いと女

■2018年5月20日(日) 180名

○けん玉であそぶ

けん玉展示・体験やけん玉バトルを実施。

・入場者：約50名

・実施：∞spikes(エイトスパイクス)

○MOA 美術館光輪花～花を楽しむ～

いけばな作品展示といけばな体験。

・料金：500円

・実施：MOA 美育ボランティアネット

○新緑茶席

新緑の中の散歩をイメージしてしつらえた2会場でお茶席を実施。

・参加者：130名

・料金：300円(2席分)

・実施：江戸千家岩手不白会 中丸社中

■2018年6月17日(日) 115名

○着物でファッションショー ～非日常を体験してみま show～
行列衣装及び非日常的なアレンジ着付けのファッションショーを実施。

・入場者：約80名

・実施：山路利津子着つけ教室

○いけばな体験 ～小さな器にかわいい花を～

花のためのワンポイントアドバイスで新しいいけ方を見つける。

・参加者：12名

・料金：600円～1,000円

・実施：龍生派 八戸支部

○いけばな体験 ～身近な花器や花で気軽に楽しんじゃおう～
いけばな作品展示及び身近な花器や花材を利用した、いけばな体験を実施。

・参加者：15名

・料金：500円

・実施：日本生花司 松月堂古流 青森県支部

○鯉節削りとふりかけづくり体験

削節器で鯉節を削り、ふりかけと簡単なお吸物を制作。

・参加者：4組

・料金：1,500円

・実施：だし&カフェ禅

■2018年8月19日(日) 235名

○日本舞踊ワークショップ ～さくらさくらを踊ってみましょう～
日本舞踊ワークショップ及び実施者による実演を実施。

・入場者：約40名、ワークショップ参加者4名

・料金：500円(ワークショップ)

・実施：日本舞踊体験実行委員会

○日本の楽器ワークショップ～三味線・小鼓・太鼓・長唄の体験～
ワークショップ及び実施者による公開稽古を実施。

・入場者：約60名、ワークショップ参加者7名

・料金：500円(ワークショップ)

・実施：長唄はつ音会

○書道を楽しむ ～筆で文字を書いてみませんか～

筆で半紙や色紙に書く体験および書作品や古代文字かるたの展示。

・入場者：100名

・実施：季心書道会

○ふだんきものを楽しむ ～和小物づくりと浴衣で散策～

半幅帯結び・和装品作りのワークショップおよび浴衣着付体験。

・参加者：5名

・料金：700～1,500円

・実施：紅 hana ワークショップ

○いけばな体験 ～おもてなしのお花～

いけばな体験(生けたお花は、持ち帰りそのまま生け替え可能)。

・参加者：5名

・料金：600円

・実施：(一財)小原流八戸支部

○旬をいただく～気軽にうち和食～

季節の食材を使った料理教室。

(1)簡単精進料理(6品) (2)お手軽和菓子(3品)

・参加者：(1)10名 (2)4名

・料金：(1)1,500円 (2)1,000円

・実施：Mela Rosa

■2018年9月16日(日) 509名

○書道パフォーマンス体験企画「きれいで書 ♪ステキで書 ♪」
模範演技を鑑賞して、練習後に大きな紙に好きな文字を清書。象形文字当てクイズも合わせて実施。

・入場者：約100名、体験20名

・実施：青森県高等学校文化連盟書道部

○平成30年度 高文連県南地区高等学校書道展

高文連県南地区高等学校書道部に加盟する高校生による書の展示。

・入場者：約100名

・実施：青森県高等学校文化連盟書道部

○秋もわくわく手しごと体験

つまみ細工アクセサリー(ブローチ・ショールピン・帯止め・かんざし)の制作体験やハロウィンの光るお手玉、お月見うさぎさんお手玉制作体験。

・参加者：30名

・料金：700円～

・実施：花鳥風月堂、いちやりば・おはな

○能面をかけて 能の世界を体験しよう

能楽の説明後に、謡曲や能の動作体験、能面着用時の世界の体験。

・入場者：約70名、体験12名

・実施：宝生流 シテ方能楽師 今井基

○「宇治橋図屏風」一双をみながらお茶を楽しむ

美術品(宇治橋図屏風一双)を鑑賞しながらのお茶席や、お点前体験を実施。

・参加者：150名(お茶席)、27名(お点前)

・料金：300円

・実施：MOA美育ボランティアネット

■2018年10月21日(日) 159名

○こけだま体験

こけだまの制作体験と、ミニ盆栽等を含めた展示販売。

・参加者：30名

・料金：1,000円

・実施：Floresta Azul～青い森～

○さをり織りグループ「わだち」作品展

さをり織り作品の展示販売。

・実施：さをり織りグループ「わだち」

○願いこめ★和のモチーフを手づくりで♪

背守りモチーフのしおり作りや、加工漆で気軽に金継ぎ修復及び和のステンドグラスのワークショップを実施。

・参加者：26名

・料金：500円～3,000円

・実施：花鳥風月堂、Stained glass～komado～

○振袖を着てみましょう！

振袖の着付け体験後、館内散策をする(着物コーディネート)の展示あり。

・参加者：約20名

・料金：800円

・実施：山路利津子着つけ教室講師会

○旬をいただく～気軽にうち和食～

旬の食材を使った、行楽弁当や和菓子づくりを実施。

(1)秋の行楽弁当 (2)お手軽和菓子

・参加者：(1)5名 (2)7名

・料金：(1)1,500円 (2)1,000円

・実施：Mela Rosa

○実りのお茶会

秋をテーマとしたお茶席を実施。

・参加者：71名

・料金：300円

・実施：江戸千家不白会八戸支部



誕生日会をテーマに新しい形のお茶席



会場いっぱい、いけばな作品を展示



普段とは違う着付けをして、ステージへ！

■2018年12月16日(日) 92名

○お正月に使える和の小物作り

つるし雛やポチ袋などの制作体験を実施。

- ・参加者:15名
- ・料金:300円～
- ・実施:紅 hana ワークショップ

○悠久のデザイン文字～第12回岩手篆刻協会八戸展～

篆刻・書・刻字の作品を一堂に展示。

- ・実施:岩手篆刻協会八戸展

○落款印づくり体験

1文字を石に彫る落款印作り体験。

- ・参加者:18名
- ・料金:300円
- ・実施:岩手篆刻協会八戸展

○クリスマスいけばな体験

クリスマスブーツに生ける、いけばな体験を実施。

- ・参加者:21名
- ・料金:800円
- ・実施:池坊八戸支部

○投扇興を楽しむ

投扇興の講座および試合形式の体験を実施。

- ・参加者:21名
- ・料金:300円
- ・実施:投扇興を楽しむ会「はなみずき連」

○旬をいただく～気軽にうち和食～

旬の食材を使った、おせちと和菓子づくりを実施。

- (1)アレンジおせちづくり (2)お手軽和菓子づくり
- ・参加者:(1)10名 (2)7名
- ・料金:(1)1,500円 (2)1,000円
- ・実施:Mela Rosa

■2019年1月20日(日) 176名

○「邦楽のひとつとき～箏と尺八と語り～」、「箏で「さくらさくら」を弾いてみよう」

演奏会および箏の体験。

- ・入場者:約80名(演奏会)、4名(体験)
- ・実施:生田流箏曲松の実會青森県支部五戸・さつき庵、はっち松操会

○ふだんきものと和の生活を楽しむ

半巾帯結び講座や和のアクセサリ作り、着付体験などを実施。

- ・参加者:51名
- ・料金:500円～
- ・実施:彩irodoriワークショップ

○てぬぐい書初め 2019

手ぬぐいに、墨と筆で好きな言葉や干支の絵を書く体験を実施。

- ・参加者:14名
- ・料金:1,000円
- ・実施:くるみのひろば

○「親子いけばな教室作品発表会」、「いけばな体験～自分だけの花器に花をいけよう～」

文化庁補助事業「伝統文化親子教室」の一年間の稽古の集大成となる作品(講師作品を含む)の展示。参加者が、器(ペットボトルや竹など)にマスキングテープで装飾し、オリジナルの花器を作った後、いけばな体験も実施した。

- ・参加者:11名(いけばな体験)
- ・料金:700円～(発表会は無料)

○旬をいただく～季節の和風お弁当～

旬の食材を使った、節分弁当や和菓子づくりを実施。

- (1)節分弁当(5品) (2)お手軽和菓子(3品)
- ・参加者:(1)6名 (2)10名
- ・料金:(1)1,500円 (2)1,000円
- ・実施:Mela Rosa

■2019年3月17日(日) 196名

○「八戸臨泉会書展」、「色紙に好きな文字を書こう」

八戸臨泉会の会員による書道展および、色紙に好きな文字を書く体験を実施。

- ・実施:八戸臨泉会

○ふだんきものと和の生活を楽しむ

半巾帯結び講座や和のアクセサリ＆雑貨作り、ふだんきもので散策を実施。

- ・参加者:16名
- ・料金:500円～
- ・実施:彩irodoriワークショップ

○「美術品を見ながらお茶を楽しむ」、折り紙で作る干支「亥」

絵皿や屏風絵の精巧な複製作品を鑑賞しながら、抹茶を楽しみ、帆風美術館のスタッフによる解説も併せて実施。和紙で、今年の干支である「亥」の折り紙作り体験も実施。

- ・参加者:150名(お茶)、30名(折り紙)
- ・料金:300円
- ・実施:MOA 美育ボランティアネット(協力:帆風美術館)



「さくらさくら」を上手に踊れたね!



曲に合わせて書道パフォーマンス



投げた「扇」や落とした「的」等の形で採点



文化芸術
活動支援
事業

酔っ払いに愛を2018 ～横丁オンリーユーシアター～

横丁で繰り上げられる…
“あなただけ”の劇場へようこそ！

八戸の中心街にある「横丁」は、古くから残る路地と小さなお店が連なる、全国的にも珍しいエリア。そんな横丁を舞台に、手が届きそうな距離でパフォーマンスが繰り上げられる「横丁オンリーユーシアター」。2018年度は招聘・公募アーティスト計9組が出演。企業からの協賛金協力も増加した。また、「酔っ払いに愛を」10回目を記念したオムニバス公演を開催。同出演者が横丁でのパフォーマンスとはひと味違う「酔っ払いの夜」を創り出した。

■酔っ払いに愛を2018～横丁オンリーユーシアター～

各横丁に5つの会場を設けてパフォーマンスを実施。回遊するアーティストも登場。

- ・実施日：2018年10月5日（金）、6日（土）
- ・参加者：約800名（2日間合計）
- ・料金：1,500円（公演鑑賞券4枚＋ドリンク引換券）
500円当日券（1公演のみ鑑賞券）

■酔っ払いに愛を10周年記念イベント

横丁オンリーユーシアターはちゅ公演「酔っ払いたちの夜」10周年を迎えた「酔っ払いに愛を」を記念して全出演者によるオムニバス形式のパフォーマンスライブを実施。

- ・実施日：2018年10月7日（日）
- ・参加者：約70名
- ・料金：2,500円（当日3,000円）

〈主催〉酔っ払いに愛を実行委員会、八戸市

〈共催〉南部電機、ムーンプラザ、PROA、Power stationA7（大松）、オリエンタル酒販、ライケット、なら弥、中居食品容器、八戸タクシー、いわとくパルコ、ビーエフエム、クラブ シャングリラ、出汁おでん 蜘蛛の糸、八戸液化ガス、三八五交通、三八五観光、類家大学堂薬局、キララ、メガネの玉屋、ノーザンライツ、ヤフー、酒食や山き、フォトセンター惣門、サロン・ド・ソフィエンス

〈後援〉NHK青森放送局、RAB青森放送、青森朝日放送、青森テレビ、八戸テレビ放送、めんこいテレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、エフエム青森、コミュニティラジオ局BeFM、八戸中心商店街連絡協議会、八戸商工会議所、まちづくり八戸、八戸観光コンベンション協会



ガムテープを使ったパフォーマンスで街なかを回遊



出演者のコラボレーションを観ることができるのもオムニバス公演ならではの



はちゅシアター公演では全出演者のトークあり



市民
活動支援
事業

第七回 はちのへ演劇祭 市民キャスト・スタッフによる 演劇を上演

「八戸を再び演劇の街へ」という思いのもと始まり、第7回目となった2018年度は、22年前に八戸の若手劇団が上演した脚本「水底の柩」を新たな布陣で上演した。キャストやスタッフを市民オーディションにより募集したほか、第一線で活躍している方を演出や客演として迎えた。

■キャスト・スタッフオーディション

ワークショップ及び台本を使用したお芝居のオーディションを実施。

- ・実施日：2018年11月18日(日)
- ・参加者：18名
- ・講師：鈴木利典(劇団扉座)
anna(バレエ講師・ダンサー)



■第七回はちのへ演劇祭

八戸の若者たちによる劇団、イージーシアター我楽多屋が、1996年に上演した作品を当時出演していた鈴木利典さんが脚色・演出し、オーディションで合格した市民のほか、客演により上演。

○「水底(みずぞこ)の柩(ひつぎ)」

原作：長尾広海

脚本・脚色・演出：鈴木利典(劇団扉座)

- ・実施日：2019年3月15日(金)～17日(日)
- ・入場者：543名
- ・料金：前売 一般1,200円、大学生以下700円
当日 一般1,500円、大学生以下1,000円

〈主催〉はちのへ演劇祭実行委員会

〈共催〉八戸市



台本使用のオーディションと上演(ゲネ)の様子



市民活動支援事業の一環として立ち上げたストリート投げ銭ライブも早5年が経ち、音楽ファンやパフォーマーの方々に好評である。また、鑑賞機会を年間20回(水曜の夜)設けていることから、市民(来場者)にとっても各々興味のあるジャンルを鑑賞できる。

来場者が館内店舗の飲食を楽しみながら、お気持ちで「投げ銭」をするというスタイルは、パフォーマーの方々にとっても励みとなり、文化活動支援の気運醸成に一役買っている。

・実施日:2018年4月～2019年3月(年間20回)

・開場:18:30 開演:19:00 終演:20:00

・入場者:各回平均30名

・出演者:4月25日 Sugar&Spice

5月16日 及川明子

5月30日 BAND〜0〜AGE

6月13日 2.4th street band

6月27日 ユミチャラティ

7月18日 厨二病ナイト

7月25日 藤井不眠夜

8月29日 Memory's

9月12日 Duo Piacere

9月26日 剣崎望

10月10日 生田流箏曲松の実會 鈴木社中

10月24日 竹林文和&ASAKO

11月14日 THE BEAT WAVE

11月28日 色彩スリーズ

12月19日 「星川七恵クリスマス・ワンマンショー」

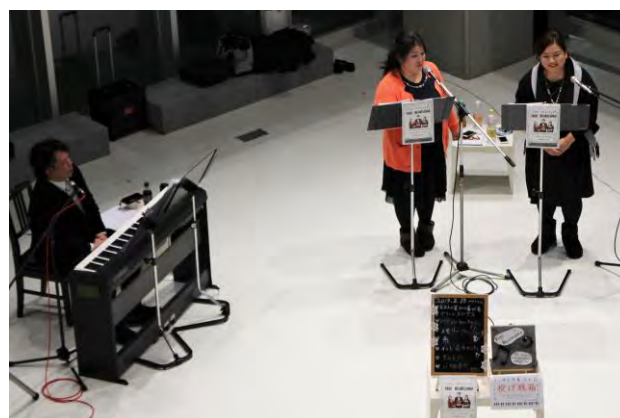
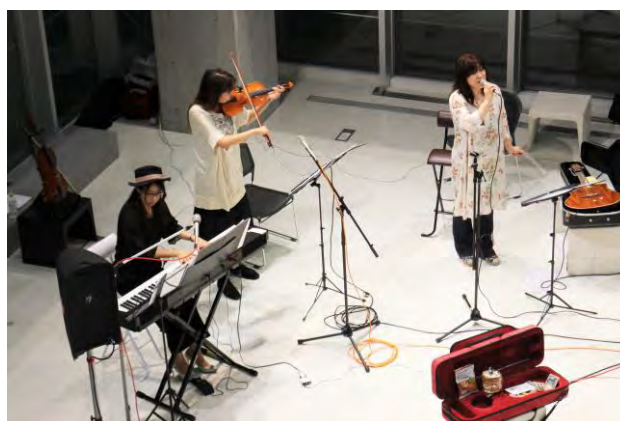
1月9日 やどりぎ

1月23日 N・S・K

2月13日 Trio Bearissimo

2月27日 GONZA 一座

3月20日 まちブーン！





市民活動
支援事業

はっちがずっぱど南部弁

方言(南部弁)の魅力をさぐり
後世まで伝える

青森県南地域で育まれてきた南部弁を使い続け、方言を後世まで伝えるための機会として実施した。

■第6回南部弁の日「はっちがずっぱど南部弁」

～うん、これアよごあんすナ～

・主催：八戸市

・共催：南部弁の日実行委員会

○第1章

「柁谷伸夫氏プロデュース」による、北東北の語り部が一堂に会し、方言の魅力を探った。また、南部弁と津軽弁のバトル(二人芝居)や南部弁サミットなど、来場者は方言(南部弁)に親しんだ。

・実施日：2018年12月1日(土)

・入場者：約200名

○第2章

「十日市秀悦氏プロデュース」による、南部弁満載のコント、トーク、バラエティーを繰り広げ、来場者はユーモラスな雰囲気包まれて温かな南部弁を満喫した。

・実施日：2018年12月2日(日)※2回公演

・入場者：約240名



年に一度の南部弁バラエティーシアター



語り部による南部弁講座



北東北の語り部による「コしばい」



二人芝居(南部弁と津軽弁のバトル)



「はっちがちっちゃな街になる」をコンセプトに開催される“屋内クラフト市”。北は北海道、南は佐賀県から63店が出展し、はっち全館がクラフトで埋まった。8回目となる2018年度は「ボーダーを越えよう！」をテーマに、メイン企画であるクラフト市のほか、ライブ・まなび舎・ワークショップ等を実施。はっち向かいのマチニワには盛岡の人気マルシェ「青空商店」が登場した。

○実施日

2018年11月23日(金・祝)12:00~20:00

11月24日(土)10:00~18:00

11月25日(日)10:00~17:00

○主催:はっち市実行委員会

○共催:八戸市

■オープニング

こどもはっち「ぴよぴよダンサーズ」によるオープニングセレモニーを実施。

・実施日:2018年11月23日(金・祝)

・協力:NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)

・出演:20名(1~3歳のこどもたち)



クラフト作家と会話しながらショッピング

■冬の外カフェ

温かいスープ・焼き立ての焼き芋・焼きマシュマロ等を提供する、薪オープンを活用したカフェを展開。

・実施日:2018年11月23日(金・祝)~25日(日)

・実施:そーるぶらんちかふえ、ウッドラック

■はっち市ラジオ局

はっち市関連のゲストが登場するラジオ局を開設。こどもたちの手により取材・編集・制作を行う「はっち市こどもラジオ局」も初開催。

○はっち市ラジオ館内生放送

・実施日:2018年11月23日(金・祝)

○「はっち市こどもラジオ局」

・実施日:2018年11月23日(金・祝)~25日(日)

・参加者:12名

・協力:コミュニティラジオ局 BeFM



「こどもラジオ放送局」緊張しながらインタビュー

■ちっちゃな街のまなび舎～手しごと分校～

出展9店舗によるワークショップを実施。

- ・実施日：2018年11月23日(金・祝)～25日(日)
- ・実施：trois et cinq、Evanista、逃猫舎
デザイン工房エッセ、くらふと宮野
奥入瀬モスボール工房、つづれや
こっそり工房、赤い鳥

■YAM のクロスボーダーサンバ

リズムを鳴らしながら館内を練り歩くミニゲリラライブを実施。

- ・実施日：2018年11月23日(金・祝)

■ちびっこアートひろば

壁に貼り付けたダンボール作品に好きな色で自由にペインティングを楽しむコーナーを設置。

- ・実施日：2018年11月23日(金・祝)～25日(日)
- ・入場者：1,476名

■はっち市スペシャルライブ

「81JIVES -エイティワン・ジャイヴス-」

Akiko & Bluemoon Quartet によるライブを実施。

- ・実施日：2018年11月24日(土)
- ・参加者：105名
- ・料金：3,000円(当日3,500円)

■匠の仕事場

八幡馬製作者の大久保直次郎さんと竹細工製作の上平竹細工店の2組の仕事場を再現。職人の技が間近で見ることができるコーナーを設置。

- ・実施日：2018年11月23日(金・祝)～25日(日)
- ・入場者：3,755名

■八戸の伝統工芸体験

南部裂織、南部菱刺し、組子細工を制作できるワークショップを実施。

- ・実施日：2018年11月23日(金・祝)～25日(日)
- ・実施：白銀さきおりクラブ、南部菱刺し刺っ娘の会
館タテグ工芸
- ・参加者：320名(3企画合計)
- ・料金：南部裂織・南部菱刺し各500円
組子細工800円

■こどもはっち こども商店街

おすし屋さん、射的、キーホルダー作り、魚つりを実施。

- ・実施日：2018年11月23日(金・祝)～25日(日)
- ・実施：NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)

■託児室

お子様連れの保護者もゆっくり楽しめるよう託児室を準備。

- ・実施日：2018年11月23日(金・祝)～25日(日)
- ・協力：NPO法人八戸子育てメイトサロンネット「みらい」
- ・料金：1時間200円／1人(最大2時間まで)
- ・利用者：47組(3日間合計)

■青空商店

岩手県盛岡市で人気のイベントがマチニワに登場。クラフト作品や雑貨、フード販売を実施。

- ・実施日：2018年11月23日(金・祝)～25日(日)
- ・協力：道具屋

■ちっちゃな街のまなび舎

「ボーダーを越えよう」をトークテーマに、はっち市のちっちゃな学校で勉強会を実施。

- ・内容：(1)時を越える縄文(小久保拓也)
(2)Across the Universe(丹羽隆裕)
(3)縄文と宇宙(小久保拓也×丹羽隆裕)
- ・実施日：2018年11月25日(日)
- ・入場者：132名(1～3合計)



「ちびっこアートひろば」好きに塗って楽しもう！



「匠の仕事場」八幡馬ってこうやって制作しているんだ～！



「はっち市スペシャルライブ」ジャズの音楽で踊りながら大盛り上がり！



八戸三社大祭との連携事業として、市民や観光客にお祭りを多角的にPRし、中心街の回遊性向上を図る「お祭りinはっち2018」を実施。前年度までははっちに展示していた山車を、完成したばかりのマチニワに展示した。

■全山車組の若者達が挑んだ2018 ユートリー新山車ができたまで

ユートリー内の展示山車を、山車組の若手が中心となってリニューアルする過程を取材し、映像や写真で紹介するとともに、山車の一部を展示。

・実施日：2018年7月29日(日)～8月5日(日)

■八戸三社大祭パネル展

八戸三社大祭や騎馬打毬の歴史・見所など「よりお祭りを楽しむ」ための情報を紹介するパネル展を実施。

・実施日：2018年7月29日(日)～8月5日(日)

■小太鼓体験「たいこでドン！」&ぬりえ体験

お囃子の練習風景を映像で見ながら、小太鼓を自由に叩ける体験とぬりえ体験を実施。

・実施日：2018年7月31日(火)～8月4日(土)

・入場者：426名

・協力：八戸婦人ボランティアいちいの会

■山車展示 in マチニワ

山車の迫力、祭りの臨場感が味わえる山車展示をマチニワで実施。

・実施日：2018年7月31日(火)～8月16日(木)

・協力：長横町粋組

■加賀美流騎馬打毬ミニ講座

全国で八戸市を含む3か所のみで行われている「騎馬打毬」。観戦前にルール紹介などのミニ講座を実施。

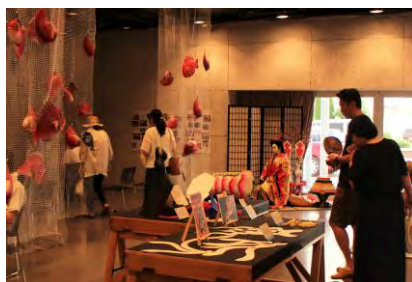
・実施日：2018年8月2日(木)

・参加者：約40名

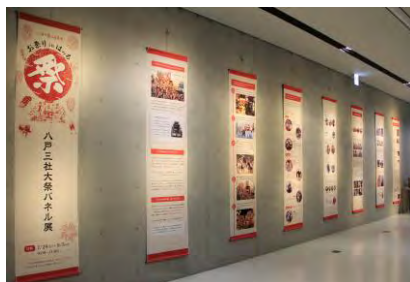
■はっちものスタ屋外出店

ものづくりスタジオを中心とした屋外出店やクラフト店をはっちひろばへ出店。

・実施日：2018年7月31日(火)～8月4日(土)



山車や型紙の一部を展示



よりお祭りを楽しむための情報を紹介



練習風景の映像を見ながらの小太鼓体験



えんぶり in はっち2019

(えんぶり連携事業)

はっちが贈る“えんぶり”の魅力



毎年2月に開催される「八戸えんぶり」に合わせ、例年大人気の「えんぶり公演」や「着つけ体験」「えんぶり組の衣装展示」のほか、えんぶり関連の作品で活動している市民の方の「切り絵」や「写真人形展」を実施。また、八戸市では2019年から八戸えんぶり初日の2月17日を、体験的学習活動等の休業日『えんぶりの日』と定めたことから、えんぶりに更に親しんでもらうための基礎知識クイズを実施した。

■天摩譲 えんぶり切り絵展

えんぶりの風景を切り絵にした作品を約30点展示。

・実施日：2019年2月14日(木)～20日(水)

・協力：天摩譲(内丸えんぶり組親方、切り絵師)

■えんぶり馬鹿～その一瞬一瞬が、春を呼ぶ～

市内外のえんぶり好きな写真愛好家、ブロガー、人形作家による作品展。写真を約100点、人形を約20点展示。

・実施日：2019年2月15日(金)～20日(水)

・協力：すぐそばふるさと写真クラブ、下崎雅之(人形作家)

■お祭り連携企画「DASHIJIN(ダシジン)」

八戸の夏のお祭り「八戸三社大祭」をテーマにしたはっちのアートプロジェクトを紹介。

・実施日：2019年2月16日(土)～20日(水)

■明日まで待てない！えんぶり談議

えんぶり好き2名による八戸えんぶりの魅力や見所を語り尽くすトークイベント。

・実施日：2019年2月16日(土)

・出演：下崎雅之(人形作家)、ニツ森護真(写真愛好家)

・入場者：約60名

■「えんぶりの日」誕生特別企画 何問解けるかな？えんぶり問題

えんぶりの知識を学びながら問題に挑戦。基本編・マニア編のどちらかを全問正解した方へ「えんぶりマスター証明書」をプレゼント。

・実施日：2019年2月17日(日)～20日(水)

・参加者：374名

■えんぶり公演 in はっち(全8公演)

各えんぶり組のえんぶり公演をはっちひろばで実施。

・実施日：2019年2月17日(日)～20日(水)

・参加者：約2,400名(各回約300名)

■えんぶり衣装着つけ体験

えんぶりの太夫・祝福芸の衣装を着て、写真撮影ができるコーナー。

・実施日：2019年2月17日(日)～20日(水)

・参加者：約148名

・料金：1衣装300円(オリジナル手ぬぐい付き)

・協力：山路利津子着つけ教室

■えんぶり衣装・パネル展

はっちのえんぶり公演に出演するえんぶり組の衣装と、えんぶりの解説パネルを展示。

・実施日：2019年2月17日(日)～20日(水)

■ミニえぼしをつくろう！

「どうさい」と「なが」の違いを知りながら画用紙と色紙でかわいいミニえぼしが作れるワークショップ。

・実施日：2019年2月17日(日)～20日(水)

・参加者：125名

・料金：100円

・協力：NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)



毎年人気の企画で幅広い年齢層が体験



えんぶりマスターを目指し問題を解く小学生



1枚の紙から作り出される繊細で躍動感溢れる切り絵



市民作家・ はっちサポーター

はっちの観光展示を支える市民力

はっちの観光展示の特徴の一つは、市民の手によるものが多いこと。高橋みのるさん(からくり工房工遊館)が制作した1階のからくり獅子舞仕掛け時計や、ミニチュア工房ちびっ@が制作した2階の片町の朝市のミニチュアなど、館内の展示作品のほとんどを「市民作家」が手掛けている。

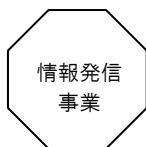
運営に当たり、市民作家に加え大切な担い手となっている市民が「はっちサポーター」。八庵でのいけ花の展示、来館者を案内するガイドが、はっちサポーターとして月に数回ボランティアで活躍している。

■八庵いけ花展示

- ・実施日:2018年4月～2019年3月(のべ13回)
- ・協力:金入陽子



市民作家が手掛けたはっち展示物の代表作
「からくり獅子舞仕掛け時計」



はっちリレーショナル・プレス はちみつ

このまちがもっと、このまちらしく
輝くためのソウゾウ開花
「はっち」が贈る、おいしい情報

はっち開館前の2010年から発行している「はちみつ」。はっちの館内のことはもちろん、中心街の様子や市内の新しい情報を発信。2018年度は2018年7月にオープンした八戸まちなか広場マチニワを特集したほか、はっち開館8周年を記念して、過去に実施したイベントを振り返る8周年特集号を発行。中心街はもちろん、市内外の公共施設にも配布。はちみつを見て来館したお客様など、八戸に興味を持ってもらうツールの一つとなっている。また、はっち8周年に合わせ、歴代の「はちみつ」を集めたアーカイブ展も実施。

- ・発行部数:vol.31・32 15,000部、vol.33 18,000部
- ・仕様:B4判8ページ2つ折、フルカラー
- ・配布先:中心街約150か所、その他市外約390か所に配布
- ・発行時期:2018年7月(31号)、10月(32号)
2019年2月(33号)



放送スタジオ 「びびすた♪」

ラジオから届け！
はっちのお知らせ情報

- ・年間出演者数：約300名
- ・周波数：76.5MHz
- ・放送日時：毎週月～金 11:30～15:00
- ・協力：コミュニティラジオ局 BeFM



毎回、はっちでイベントを開催する主催者がゲスト出演し、楽しいトークを繰り広げる

「ラジオ」というと顔が見えず音だけを頼りに情報をキャッチするもの。「どんな人なのだろう？」「どんな空間で放送しているのだろう？」とワクワクするのもラジオならではの楽しみの一つだが、はっちでは1階のガラス張りの放送スタジオで公開放送しているので、スタジオの前に立てば、ラジオで話している様子を直接見ながら楽しむことができる。「送り手と聴き手が空間を共有できる」はっちのラジオ放送スタジオをぜひ覗いてみてほしい。

また、番組中は、はっちや中心街で開催するイベントを告知するコーナーがあり、イベントの実施者が自らラジオに出演し、宣伝・PRを行っている。

ボランティア
ガイド

来館者とまちをつなぐ ボランティアガイド

はっちは1階から4階まで観光展示やショップなどがあり、毎日常駐しているガイドに案内してもらおうと、また違ったはっちを楽しめる。

館内や八戸の見所案内はもちろんのこと、良き話し相手にもなってくれるガイドは10代から80代の幅広い世代で構成されており、研修会などで勉強しながら日々はっちを支えている。

○ガイド案内時間 9:00～17:00



オープン前のマチニワで研修会を実施



社会科見学の小学生を案内中



貸館事業

市民のみなさんの 活動・交流の場

はっちの三大事業の一つである貸館事業。市民がはっちを利用して、さまざまな催し物を開催しており、毎年開催される恒例イベントも増加している。各施設の特徴や利用事例を紹介。



1F はっちひろば

3階まで吹き抜けの開放的な空間。作品展示・ステージ発表・講演会など多目的に使用可能。



1F シアター1

音響設備やピクチャーレール・ライトなどを用意しており、講演会・作品展示などが多く開催されている。



1F ギャラリー1

ピクチャーレール・展示用照明がある展示スペース。はっちひろば、シアター1と組み合わせた利用も可能。



2F シアター2

音響・照明設備・大型スクリーンがある多目的ホール。楽屋も完備しライブ・演劇が多く開催されている。



2F ギャラリー2

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた個展に最適な展示スペース。



3F ギャラリー3

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた個展に最適な展示スペース。



3F 和のスタジオ・八庵(はちあん)

炉を備えた32畳の和室「和のスタジオ」。掘りごたつ式にもなる「八庵」を組み合わせ利用も可能。お茶席・日本舞踊の発表会・お稽古が多く開催されている。



3F 音のスタジオ

ドラムセット・キーボード・アンプなど音響設備が備わっている防音室。楽器練習・バンド練習のほか、シアター2での本番前練習にも利用されている。



4F 食のスタジオ

コンベクションオープン・炊飯器を始め、調理器具・調理台が備わった開放感あふれる調理室。調理の様子を映せるカメラとモニターも設置。



5F 共同スタジオ

100㎡の多目的スペース。大人数でのワークショップなどが多く開催されている。



5F レジデンス

約42㎡の多目的スペース。アーティストがレジデンスしていないときは、少人数の会議・セミナー、踊りのお稽古などが多く開催されている。

○貸内の利用状況 (2018年4月～2019年3月)

スペース	稼働率※
はっちひろば	61.0%
シアター1	83.6%
シアター2	73.6%
ギャラリー1	86.0%
ギャラリー2	69.3%
ギャラリー3	52.6%
和のスタジオ	43.1%
音のスタジオ	174.1%
食のスタジオ	39.0%
共同スタジオ	38.9%
レジデンス	86.8%

※4時間以下の利用を0.5日、4時間を超える利用を1日として換算



(2018年4月~2019年3月)

[illegible]

はっちの年表

2006年	9月	基本構想策定
2007年	6月	基本計画策定
2007年	10月	基本設計策定
2008年	6月	プレ事業スタート
	12月	設計変更
2009年	4月	着工
	8月	愛称「はっち」に決定
2010年	3月	正式名称「八戸ポータルミュージアム」に決定
2011年	2月	はっち開館(2月11日)
	3月	東日本大震災により臨時避難所として運営(3月11日)
		照明学会 照明普及賞受賞
		来館者数161,377人(3月31日)
	7月	八戸レビュー販売
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前24%増 中心街全体13%増
2012年	2月	開館から1年目の来館者 888,888人
	3月	来館者数100万人達成(3月27日)
		来館者数1,011,916人(3月31日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前89%増 中心街全体33%増
		グッドデザイン賞受賞(八戸レビュー)
2013年	3月	来館者数1,900,046人(3月31日)
	5月	来館者数200万人達成(5月15日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前101%増 中心街全体24%増
		グッドデザイン賞受賞(市民が地域づくりに参画できる仕組みプロジェクト)
		第33回東北建築賞受賞
		「日本建築家協会優秀建築選」100選受賞
2014年	3月	来館者数2,863,293人(3月31日)
		文化庁長官表彰受賞(文化芸術創造都市部門)
	4月	マチニワ基本構想策定
	5月	来館者数300万人達成(5月30日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前109%増 中心街全体35%増
		マチニワ活用アイデアコンペ公開プレゼン開催
	11月	第43回デューリー東北賞受賞
2015年	3月	来館者数3,846,458人(3月31日)
		マチニワ整備基本計画策定
	6月	来館者数400万人達成(6月2日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前82%増 中心街全体19%増

	11月	KIBOW 年次大会2015準優所(まちぐみ)
2016年	3月	来館者数4,791,861人(3月31日)
	4月	第8回ふるさとあおもり景観賞地域づくり活動部門最優秀賞受賞(まちぐみ)
	6月	来館者数500万人達成(6月28日)
		地域創造大賞(総務大臣賞)受賞
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前60%増 中心街全体9%増
2017年	3月	来館者数5,735,200人(3月31日)
		マチニワ着工
	7月	来館者数600万人達成(7月18日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前91%増 中心街全体33%増
2018年	3月	来館者数6,670,219人(3月31日)
	7月	マチニワ竣工
	7月	マチニワオープン(7月21日)
	8月	来館者数700万人達成(8月10日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前59%増 中心街全体22%増
	11月	全映協グランプリ2018 CM キャンペーン部門優秀賞受賞 (88異国プロジェクト)
2019年	1月	第9回地域再生大賞 北海道・東北ブロック賞受賞(まちぐみ)
	3月	来館者数7,544,229人(3月31日)



2018.4－2019.3

八戸ポータルミュージアム はっち の歩み

発行日 令和元年(2019年)12月

発 行 八戸市【八戸ポータルミュージアム】

〒031-0032 青森県八戸市三日町11-1

TEL 0178-22-8228

FAX 0178-22-8808

<https://hacchi.jp>

<https://hacchi.jp>